

# 平成25年度 妙高市外国語活動部会 活動報告

部長 嶋田 和雄

妙高市では、これまで、重点部会を中心にした研究活動を行っていたが、本年度から教科領域部会を中心とした研究活動を行うことになった。

## 1 研究主題

「小・中連携した外国語活動のあり方」

## 2 研究の概要

妙高市では、外国語活動部会がスタートする以前から、市教育委員会の指導主事及び外国語活動コーディネーターを指導者として、各校の外国語推進委員による外国語活動研修を行っている。今年度は、既存の組織と連携し、授業参観や研修を重ねてきた。外国語活動部としては、下記の3回研修を実施した。

- (1) 第1回外国語活動部会 平成25年 4月18日  
\*平成25年度の活動計画立案
- (2) 第2回外国語活動部会 平成25年 8月22日  
\*教育課程伝達講習会 情報交換会
- (3) 第3回外国語活動部会 平成25年11月 8日  
\*授業研究

## 3 研究の実際

授業研究 学 年 斐太北小学校5年生  
単元名 クイズ大会をしよう

Hi, friends!Lesson7  
「What' s this?」



### 授業の概要

Opening greeting では、これから外国語活動の授業が始まることを意識化させ、心と体を切り替える場として、チャンツ「ハローソング」を行った。Warm up & Activity1では、本時で使う語句や表現に慣れ親しむために、陣取りゲームやキーワードゲームをした。また、前時に行ったオリジナルゲームBlack Box, Silhouette, Picture Quizを行い、「What' s this?」の習熟を図った。ゲームは、3つのブースを作り、ローテーションしながら子ども同士でクイズを出し合った。Feedback では、本日の活動の感想を発表していた。

## 4 授業の考察と指導

授業検討会において、参加者から子どもたちが生き生きと歌やゲームに取り組んでいる姿や反応のよさに驚いた。また、授業のテンポや消極的な子どもへの配慮がしっかりされている。デジタル教材を有効的に活用されている。授業後の振り返りシートの活用で、子どもたち自身が授業を通しての変容が語れることに感心した。中学校の参加者からは、2, 3年前から生徒の英語に対する反応がよくなってきている。小学校での外国語活動の成果と感じている等、授業に向かう子どもたちの姿勢や教師の指導に対して評価をいただいた。

授業者から見ると、1学期はおとなしく反応が少ない子どもたちであった。外国語活動をするにあたって、積極的な子どもと消極的な子どもをどう関わらせながら授業をどのように構築していくか、日々の子どもの見取りを大切にしてきたと述べた。

指導者からは、次の4点について指導があった。

- ① 子どもたちが互いに認めあえる学級経営が授業の鍵を握っている。
- ② 外国語活動は、子どもだけでなく教師のコミュニケーション力が必要である。
- ③ 小・中連携した外国語活動の推進にあたり、互いの授業スタイルや手法を取り入れた授業の工夫が大切である。
- ④ 平成28年度に新学習指導要領の告示がされ、小学校において英語が教科化される。授業実践をとおして指導力を高めていくことが求められる。

